

なかつか 亮



2013年6月2日(日)

NO399

区議控室 Tel 5742-6818

事務所 大井3-19-7-101

Tel 3773-3231

説明を聞けば、聞くほど納得できない 29号線問題 区と住民の懇談会に80人強



ウエルカムセンター原(旧原小音楽室) 大勢の近隣住民が集まりました

5月24日(金)午後6時30分より開催された「住民の会」主催の品川区と近隣住民の懇談会に会場一杯の80人強が参加。区より29号線、31号線道路建設の計画概要が説明され、参加者より「決定済みの計画だからと進めるのはどうなのか」など率直な意見交換が行われました。

会場一杯の参加者

「安心・安全みどり豊かなまちを考える西大井・大井住民の会」は道路建設に

対する住民への説明が不足している問題で、品川区に懇談会の開催を申し入れました。区は要望を受け、計画説明と区と住民との意見交換を行う懇談会が24日(金)ウエルカムセンター原(旧原小)で開催されました。当日は準備した資料60枚が足りなくなると80人強の近隣住民が集まり会場は一杯に。区からは都市計

画課など4名が出席しました。

率直なご意見を

懇談会の冒頭、主催者である「住民の会」共同代表の穂山さんより「今日は率直な疑問や意見を出して欲しいと企画しました。質疑の時間をできるだけ確保しましたので、どうぞ遠慮なく手を挙げてください」と挨拶。事前に提出した質問に答える形で区より15分ほどの計画説明。その後、参加者より質問、区の回答と活発に意見交換が行われました。裏へ

懇談会の様子

私のメモです。不十分な点はご了承下さい。

◆品川区「木密地域を燃えない燃え広がらない街とする取り組み。道路だけでなく様々な事業を重ねて進める。都が29号線を提案。交通ネットワークや防災としても必要な道路なので、提案を受け区は一緒に進めることにした。29号線は都道、31号線は区道です。」

◆住民「沿道建物はどうなるのか」

◆品川区「用途地域、容積率の変更を進めているが、すぐに立ち退きを求めるものではない。建替え時に高さ最低7層以上を検討。沿道はコン

クリート建物で火災の拡大を防ぎたい」

◆住民「道路計画に住民は賛成か反対か。区の認識はどうか」

◆品川区「住民には賛否両論あると思う」

◆住民「住民に道路計画に対する賛否は問わないのか」

◆品川区「決定は昭和21年と、随分と昔だとの意見もあるが、都市計画決定事項です。改めて住民に賛否を問う考えはないという事です」

◆住民「西大井4丁目に通す意味がわからない。ここは木造密集ではないと思う」

◆品川区「ここが危険で、ここが危険でないでは道路はグネグネに曲がってしまふ。道はまっすぐに

作るという考えです」

◆住民「鉄道が延焼を遮断するのは。車両火災の想定は」

◆品川区「鉄道は空間があるので延焼を防ぐ効果は一定ある。車両火災は検証する為のデータが足りないので検証できない」

◆住民「道路ができる」と学校の通学区域は変わるのか」

◆品川区「道路によって学区域が変更する事は無いと思う」

◆住民「道路計画になぜ、新しい家が建つのか。私は近隣だが知らなかった」

◆品川区「法律上、事業決定の前であれば条件付きで確認許可を下ろさざるを得ない。道路上の権利者は売買契約時に説

明がされているはず」

◆住民「区議会では3回も全会一致で反対の意見書を都に上げている。区民の意思は明らかだ」

◆品川区「区議会の意見は承知しているが、都の新たな想定や3・11大震災の状況の変化を踏まえた」

◆住民「31号線は中止になったのでは」

◆品川区「木密なので品川区は必要な道路と考えている。事業を進める日程は決まっています」

その他に税金の使い方、防災や道路幅の根拠、建物補償、道路形状、鉄道交差点、消防能力、区画整備事業、建物集合など幅広い質問や意見が出されました。

懇談会に参加して なかつか亮

「既に決定済み」と道路建設を急ぐのはおかしいです。参加者から「聞けば聞くほど、納得できない」と感想が寄せられるなど、とても進める状況ではありません。道路建設は住民を追い出し、交通量増加と沿道高層化で街は分断、住環境は悪化、震災時の危険も増やします。計画を白紙に戻し住民参加で防災まちづくりを作るべきです。

次回の無料法律相談会は日程が決まり次第、お知らせします

急なご相談はご遠慮なく、お電話ください なかつか亮

連絡先 昼：区議控室 5742-6818 夜：事務所 3773-3231